【健康経営戦略マップ】

健康投資

様々な効果に関連する健康投資（※）

- 定期健康診断の実施・充実
- 健康管理システムの導入
- 受診勧奨に関する取り組み
- ストレスチェックの実施
- ストレスチェック後の職場環境改善の取り組み
- 産業医面談の実施

実施実績あり

従業員の健康診断の実施	食生活改善に向けた支援 （食生活改善アプリ・管理栄養士指導・腹8分運動など）
任意健診・検診受診率向上のための取り組み	運動習慣の定着に向けた支援 （スポーツイベント・運動アプリ・スポーツクラブなど）
医療機関への受診を促す取り組み	従業員生産低下防止のための取組 （睡眠障害・肩こり・アルコール依存など）
ストレスチェックの実施	女性特有の健康課題 （健康教育・婦人科健診補助・相談窓口・生理休暇など）
管理職・従業員への健康教育	長時間労働者に対する取組 （産業医面談・疲労度チェック・人事面談・上長面談など）
ワークライフバランスの取組 （労働時間の把握・有給促進・変形労働時間など）	メンタルヘルス不調者への対応 （ハラスメント窓口・リワークプログラム・復職サポート等）
育児または介護と就業の両立支援	感染予防に関する取組 （予防接種・費用負担・職場対策など）
職場活性化（コミュニケーションツールの導入 ・社内報・社内ブログ・SNSなど）	高齢従業員特有の健康課題
病気の治療と仕事の両立支援 （復職支援体制・リハビリ勤務制度など）	従業員の被扶養者に対しての制度・施策
特定保健指導・特定健康診査実施率の向上施策	喫煙率低下に向けた取組 （教育研修・費用補助・社内ルール・イベントなど）
健康診断就業区分判定の実施	受動喫煙の取組 （喫煙室整備など）

健康投資効果

従業員等の意識変容 行動変容に関する指標

各種健康指標の測定

	目標(%)	実績(%)	最終目標
血圧リスク者率（180・110以上）	0.7	0.6	0.5
血糖リスク者率（空腹時血糖220以上）	0.5	0.3	0.3
糖尿病管理不良者率（HbA1c8.5以上）	0.6	0.6	0.4
適正体重維持者率	68.0	60.5	70.0
喫煙率	15.0	19.9	10.0
運動習慣者比率	28.0	18.5	36.0
睡眠による十分な休養が取れている人の割合	50.0	59.8	60.0
飲酒習慣者率	7.0	6.6	6.0
高リスク者の対応率	85.0	79.0	90.0
ストレスチェック健康障害リスク	112	112	108

健康関連の最終的な目標指標

		目標(%)	実績(%)	最終目標
プレゼンティーイズム		80.0	81.9	90.0
アブセンティーイズム		6.0	5.0	3.0
ワークエンゲージメント		3.6	3.2	4.0
仕事満足度		1.8	1.7	2.2
コミュニケーション活性度合い		1.8	1.6	2.2
ヘルスリテラシー状況	男性	20.0	8.5	50.0
	女性	15.0	2.2	40.0

- プレゼンティーイズムの低減（病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%として、過去4週間の自身の仕事を評価）
- アブセンティーイズムの低減（去年１年間のうち、自分の病気で何日仕事を休んだかを測定）
- 仕事満足度・ワークエンゲージメントの向上（ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度（短縮版）にて測定）

健康経営で解決したい経営課題

心身の不健康や疾病による生産性低下を防止し、働きやすい職場環境を形成して従業員の定着率向上を図り、企業の持続的な発展を目指していく

	目標(%)	実績(%)	最終目標
新卒5年後定着率	66.0	61.3	70.0

（※）基本的に「健康投資」と「健康投資施策の取組状況に関する指標」は1対1で対応する。しかし、中には複数の「健康投資施策の取組状況に関する指標」に対応する「健康投資」も存在するため、そのような「健康投資」を「様々な効果に関連する健康投資」とする。

健康経営指標

各施策に関する指標

- 経営課題（KPI）
- 定期健康診断受診率
- 定期健康診断後の精密検査受診率
- 保健指導継続率
- 健康診断問診票の集計
- 健康診断結果指標
- 特定健康診査実施率
- 特定保健指導実施率
- 医療勧奨の応答率
- ストレスチェック受検率
- 長時間発生状況
- 労働時間の状況
- 傷病による休職状況
- 休暇取得の状況
- 各施策従業員満足度
- 離職状況